### 大学改革 と 自治療防衛

大学をめぐる国家政策

国策と自治潰し

学生にとっての理想の大学 政府にとっての理想の大学
大きく異なる

その違いが、熊野寮に対する攻撃として 表れている

熊野寮に対する攻撃の流れを 規定しているのが、

## 大学改革

大学改革について知り、意識的に対抗していてう

みんな知ってるかな?

#### ①学生処分

大学当局を批判したり、自主的な活動を積極的に行ったりする学生を懲戒処分。



学生がどての個人攻撃である。

②ガサ

国家権力の直接の攻撃。

100人以上の機動隊を派遣する自治破壊のための強制捜査。



REINSEX ZALAS 後がな分類を行う自治破壊の

#### ③食堂への攻撃

熊野寮の団結の源である食堂をつぶす攻撃。厨房の労働環境などを意識的に破壊してくる。

③食堂への攻撃をおがい、 熊野寮のアンスを主義堂をつぶす攻撃。 「アスなどを意識的に破壊してくる。

能野寮の写真などを意識によるという場合

まったく新しいものではない。

寮への攻撃は1970年代から、 一貫性をもって進んでいる

分断と管理の思想

1980年代 中曽根政権「臨時教育審議会」

「教育の自由化」 (香山健一)

• • 自己責任、競争原理

1986

国鉄分割・民営化それに続く労組つぶし

1986

吉田寮在期攻擊

労働組合つぶしのプロ:葛西敬之

- ①国鉄解体を主導
- ②JR東海の幹部
- ③国家公安委員
- ④政府主導の「教育再生会議」の役員
- ⑤京大の経営協議会(後述) (2012)
  - →団交拒否・学生処分



労働組合つぶしのプロ治会を
①国鉄ケールのアードル

教育再生会議」の役員

人の経営協議会(後述) (2012)

→団交拒否・学生処分



がおりませんのではない。

教育再生会融」

入への経営協議会(後述)(2012)

→団交拒否・学生処分



が終めることのではならない。個として管理と 生きられないのは自己責任 **教育再生会**融。

人の経営協議会(後述)(2012)

→団交拒否・学生処分

2001

「国立大学法人化」

• • 民間経営、競争原理

2013

「国立大学改革プラン」

• • 学長権限強化

悪名高いのが……

## 経営協議会

国家の介入と利潤追求

大学が社会のものから、 権力者のものに変質している

経営協議会は……

- ①学外者が3分の2
- (2)大企業の重役、政府の役人など



大学の運営方針を決定

経営協議会は……

- 訊37)
- 政府の役人など



大学の運営方針を決定

そもそも大学って、

次の社会をつくる場所

- ・次の社会をつくるのに、 今の権力に影響されてはいけない
- ・批判意識をもって世の中をみつめ、 変革していくのが学生

※大学への国家の介入を許したのが第二次世界大戦。

戦後の闘争によって、 大学の自治は勝ち取られてきた。

## それなのに!

大学自治が破壊され、

企業や政府の役人によって

大学のゆくすえが決められているなんて、

とんでもない。

そのほかにも、

#### 「運営費交付金」

政府が各大学の「中期目標」を見ていくらあげるか決める

→競争原理の導入

大学は金をもらうために、

進んで政府の思うままになる。

大学当局に「営業権」「施設管理権」がある by 当局



ビラまき、ビラ貼り規制

つまり……

大学=国策遂行の場 研究・教育=利潤追求の場

「自治寮防衛」の本質とは

大学自治は 政権方針とは根本的に相いれない。



具体的な形をとって現れるのが 学生への弾圧

# 自治をまもる闘い =国家との闘い

## 個として分断し管理する思想に、自治と団結の思想を対置して闘おう